



(本号より、長崎県技術士会機関紙の名称を変更いたします)

(社)日本技術士会九州支部 長崎県技術士会

平成18年4月1日発行・責任者 犬東洋志

平成18年度のスタートにあたって

長崎県技術士会 会長 犬東 洋志

「光陰矢のごとし」新しい年が明け、寒いさむいと縮こまっていたら桜も咲き新年度が始まっています。

最近の情報化時代が本当に良いのかどうか解らなくなってきました。我がPCにも連日迷惑Mailが配信されマジその消去をしなくては仕事に取り掛かれない状況です。よって HDD 内に大切な Data の保存が不可能でいちいち BackUp と面倒なことです。どなたか最良の方法をご教授ください。

しかしながら、APREN も新しい時代に入ります。

1. NERC と協同体制がとれること。

我々の事務局が二転三転し会員の皆様にご迷惑をかけていますが、HP を NERC を介して開設できたことで今後協力して各種の企画を行い技術力の向上を図ってゆきたいと思えます。会員の方々も大いに NERC を活用していただきたいと思えます。

2. Home Page が開設されたこと。

検討をしてきました HP が4月はじめから NERC のサーバーを介してログオンできました。詳細は委員長の記事欄を見ていただきますが、正式活用は総会后としますが、今後修正を加えながら会員のために役立つスタイルにしてゆきますのでご意見を寄せて活用ください。唯、修正などが NERC の PC 管理者しか取り扱えませんのでご理解ください。

3. 情報伝達ではなく情報取得の時代に。

これからは情報がほしい人が情報を取りに行く時代になります。これまでは事務局から情報が必要不必要に関わらず伝達されましたが、今後は会員皆さんが HP にアクセスして自分が必要な情報を得て対処していただくこととなります。

但し、PC 環境が無い会員にはこれまで同様情報を郵便でお伝えします。

このことによってコスト削減が図られることは貴重なことです。

最近、経済状況の影響か、必要性の認識低下か、面倒なのか、Face to Face での会話が過小評価される時代です。技術立国を目指すわが国の技術者はこれでは良くないと思えます。今後とも各種の企画には万難を排してご参加を期待するとともに健康に十分ご留意してご活躍を祈念し、新年度を迎えての Message と致します。

ホームページの開設にあたって

IT委員長 西村 博崇

長崎県技術士会のホームページ (HP) の運用を試験的に

「川に学ぼうかい」の活動紹介

橋口 茂 (総合技術監理部門、建設部門)

昨年3月、参加している「海辺ばきれい」にしよう会の歓送会で、T嶋会長(当時)の「この海にどっからゴミの来よっと思うとつや。川ぞ。」とお言葉がきっかけでした。数日後、この話をお伝えした職場の尊敬する先輩のN口さん(本技術士会会員)には、「浦上川のそばに住んどつやったら、あんたが愛護団体ば立ち上げんね(笑)」との有難いお言葉をいただき、大きな後押しになりました。

仕事で知り合った長崎大学工学部のK池先生に相談したところ、「やってみましょう」と賛同いただきました。

こうして8月、K池先生、大学院生のトミーさん、私の3名で、川に学ぼうかい最初の活動が実現しました。

◎ 活動における私の原点

若手技術者の頃に担当した仕事で、都市化に伴い身近な自然が失われ、人々との関わりも希薄になってしまった各地の河川や道路等の荒廃した現場に直面しました。私は仕事を通じて、効率性を追求する社会経済システムや私達の日常生活が問題の根底にあることを知りました。当時は、問題解決の困難さと、仕事で求められる対症療法的な対策とのジレンマの中で、無力感や罪悪感に苦悩していました。

そんな10年ほど前、当時暮らしていた千葉県松戸市内に設立された「新坂川をきれいにする会」に参加しました。

細々と活動するうち、社会経済構造や都市型の生活様式は、高度成長期以降に数十年をかけて浸透・定着しており、簡単には変えられない現実であることを実感しました。

この厳しい現実を受け入れ、事実を見つめて、できることを自然体でやればよいということを会の先輩方の姿に学び、とてもホッとしたのが私の原点になっています。

◎ これからの取組み

川に学ぼうかいの活動は、大橋町付近をフィールドに、主に長ぐつを履いて川に入り、または沿川の道路を歩いてゴミを集めるといったもので、これまで隔月で4回行いました。ゴミを拾うことには限界があり、川に学ぶことをめざしているため、ゴミや生きものの様子を観察したり、ポーットしても構わないとメンバーにもお伝えしています。前回からは、印象に残ったゴミの記録等も開始しました。

会では、防災面を含む自然との共生や循環型のまちづくり、歴史・文化なども意識しつつ、たとえ少人数でも息の長い活動を楽しみながら続けていければと話し合っています。こうしたささやかな体験活動を通じて、暮らしの中での自然とのつながり、森から海までのつながり、流域に関わる方々のつながりなど、様々なつながりを少しずつ回復し、私達のライフスタイルをちょっとでも見つめなおすことができたらいいな・・・と願っています。

私も事務局の立場で、生活・仕事や学校等で流域に関係

開始しましたので、お知らせします。HP のアドレスは下記のとおりです。

<http://wwwsv.nerc.or.jp/APREN>

(APREN は大文字です。)

現在、IT 委員の間で誤った記載箇所の訂正や不備な箇所の修正を順次行っているところで、今後、会員の皆様に可愛がっていただける HP にしていきたいと考えているところです。

会員の皆様方も色々なお考えがお有りと思いますので、ご意見を西村まで、メールかファックスでお寄せいただければ幸いです。特に、会員の専用ページの運用に関し、良い意見があればと思っています。

HP の内容などについては、通常総会において報告します。

ご意見等の送付先

西村 博崇

(財) 長崎県建設技術研究センター

Tel : 0957-54-1600 Fax : 0957-54-1592

E-mail : h-nishimura@nerc.or.jp

する方々が継続して参加いただけるよう、市民部門の環境カウンセラー&技術士として微力ながら取組む所存です。

おわりに、この3月で転勤・卒業されたK池先生や学生各位には厚く御礼申し上げます。また、メンバー各位には、今後とも、ぜひ末永く面白い取組みをお願いします。

本技術士会の会員各位 (特にN口さん) におきましても、助言・ご支援等いただければ幸いに存じ上げます。

☆川に学ぼうかい・ブログ

<http://blogs.yahoo.co.jp/kawamana2005>

事務局たより

1. HP の開設に当って

本HP の開設に当っては、(社) 日本技術士会九州支部へ開設の通知を行い、支部等とリンクします。

開設の成果は、会員皆様のHP へのアクセスに掛かっています。皆様の積極的な活用をお願いします。

2. 18 年度技術士第 1 次試験申込書配布・説明会の開催

第 1 次試験の申込書配布は、5 月 12 日から行ないます。

なお、配布・説明会は、5 月 20 日 (土) 10 時~12 時まで、下記の場所で行ないます。

長崎県勤労福祉会館、長崎市桜町 9-6 (長崎市役所別館裏) 電話 095-821-1456。

申込書等の問い合わせは「大橋・・下記の連絡先」までお願いします。なお、18 年度第 2 次技術士試験の申込書配布は 57 部でした。

3. 本号は、年度始めのため会長の挨拶、HP の開設、会員の投稿 (橋口茂氏依頼分) を編集しました。

4. 18 年度通常総会の開催について

詳細は後日送付いたしますが、総会は 6 月 9 日 18 時より開催いたします。場所は、交通の便を考慮し諫早駅前のホテルセンリュウで行ないます。多くの会員のご出席を切にお願いします。

5. 平成 18 年度の会費について

後日、請求書を発送いたします。よろしく願いいたします。尚、総会出席者の皆様は当日徴収いたしますのでよろしく願いいたします。

会の活動等に関する提案や自由なご意見等、本機関紙への投稿をお待ちしております。

会員皆様の要望、意見、各種情報等も下記までお寄せください。

長崎県技術士会に関する連絡は、下記へお願いいたします。

西日本菱重興産株式会社土木部 大橋 義美

〒852-8136

長崎市神の島町 3 丁目 9 番 9 号

TEL 095-865-5200

FAX 095-865-5880

[E-mail : yoshimi.oohashi@west-ryoko.co.jp](mailto:yoshimi.oohashi@west-ryoko.co.jp)